

別 紙

第53回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分 科 会 名	第3分科会	演題番号	325
題 名	<i>Escherichia albertii</i> による食中毒における病因物質の特定について		
所 属	環境衛生科学研究所 <sup>1)</sup> 御殿場健康福祉センター衛生薬務課 <sup>2)</sup> 東部健康福祉センター細菌検査課 <sup>3)</sup>		
氏 名	○森主博貴 <sup>1)</sup> 鈴木秀紀 <sup>1)</sup> 村田学博 <sup>1)</sup> 松橋平太 <sup>1)</sup> 山田俊博 <sup>1)</sup> 長岡宏美 <sup>1)</sup> 佐原啓二 <sup>1)</sup> 泊明季 <sup>2)</sup> 岩田佐知子 <sup>2)</sup> 杉山智登勢 <sup>2)</sup> 鈴木眞二 <sup>2)</sup> 高井健太 <sup>3)</sup> 平井愛 <sup>3)</sup> 西尾智裕 <sup>3)</sup> 野田佳宏 <sup>3)</sup>		
要 旨 (簡 潔 に)	<p>平成28年7月、御殿場市内の陸上自衛隊演習場において訓練していた隊員が下痢、腹痛、嘔吐、発熱等の症状を呈した。</p> <p>検体採取後、環境衛生科学研究所で実施した遺伝子検査では腸管病原性大腸菌を疑う遺伝子 (<i>eae</i>) が検出された。一方、保健所細菌検査課で実施した分離培養検査では特定の血清型の大腸菌は検出されなかったが、共通の生化学的性状 (乳糖・白糖非分解、非運動性) を示す細菌が分離され、その性状から検出菌が <i>Escherichia albertii</i> (<i>E. albertii</i>) である可能性が示唆された。</p> <p>そこで非定型の腸管病原性大腸菌である可能性を考慮しつつ、<i>E. coli</i> と <i>E. albertii</i> の鑑別を行った。その結果、検出菌は <i>E. albertii</i> と同定された。また、パルスフィールドゲル電気泳動法により患者由来検出菌間の遺伝子相同性について精査したところ、100%一致した。</p> <p>本事件は、訓練中の食事を原因とする <i>E. albertii</i> による食中毒と断定されたが、<i>E. albertii</i> は2003年に新種として発表された菌であり、本菌による食中毒事例は静岡県では初、国内では7例目の事例となった。</p>		